

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 49-97226

Laid-Open Date: August 22, 1974

Japanese Utility Model Application No. 47-144925

Filing Date : December 15, 1972

Inventor : Yoshiharu AOKI

Applicant: Kinki Insatsu Kabushiki Kaisha

FLAT GOODS CONTAINER

In a top-open type box (1) of the present invention, a sheet (4) having a series of inner-oriented corrugations is inserted into the box and brought into a close contact with the entire inner parts of a bottom board (2) and both side boards (3), (3). A concave cutout part (11) is formed on a front surface of the box (1).

According to a flat goods container of the present invention, the lower edge and both sides of the flat goods (9), for example, tea-bags, are inserted into valley parts of the corrugated sheet (4) to thereby support the flat goods (9).

THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑫日本分類

132 C 4
132 C 5

⑬ 日本国特許庁

公開実用新案公報

⑭ 実開昭 49-97226

庁内整理番号 6333-38
6333-38

⑮ 公開 昭 49(1974)-8.22

審査請求 有 (全3頁)

⑯ 扁平物収納容器

⑰ 実 願 昭 47-144925

⑱ 出 願 昭 47(1972)12月15日

㉑ 考 案 者 青木好春

東大阪市長堂2の28

⑲ 出 願 人 近畿印刷株式会社

大阪市西淀川区御幣島5の12の
24

㉒ 代 理 人 弁理士 秋山鳳見 外1名

㉓ 実用新案登録請求の範囲

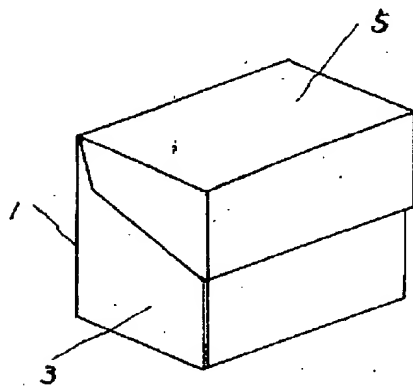
上面開放状の箱1を設け、該箱1の底板2及び

両側板3、3の全体に亘つて一連の内向波形紙4
を内接せしめたことを特徴とする扁平物収納容器。

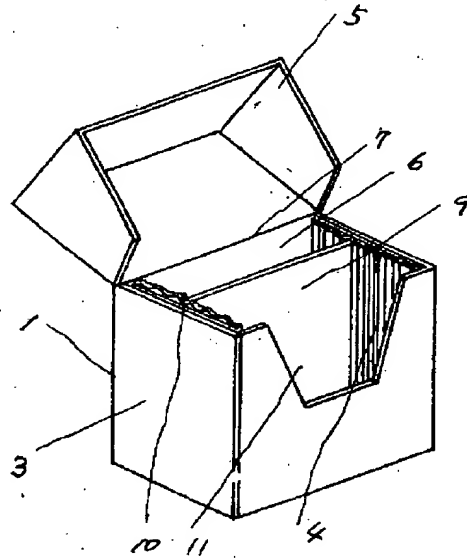
図面の簡単な説明

第1～4図は本考案の第1の実施例、第5、第
6図は第2の実施例を示すもので、第1図は斜視
図、第2図は開蓋時斜視図、第3図は波形紙の平
面図、第4図は箱の展開図、第5図は開蓋時斜視
図、第6図は波形紙の折曲時正面図である。1…
箱、2…底板、3、3…両側板、4…波形紙、5
…蓋体、6…背板、7…折り目、8…仕切り、9
…扁平物、10…切欠部。

第1図

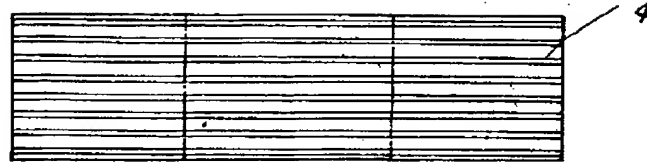


第2図

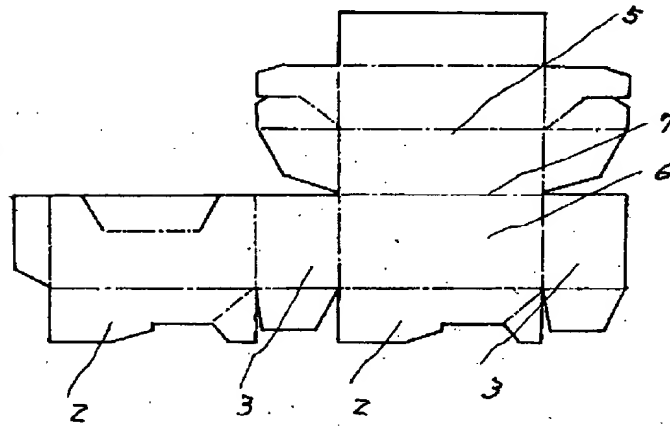


THIS PAGE BLANK (USPTO)

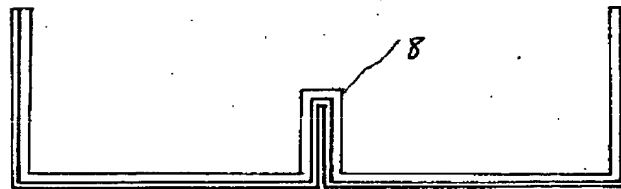
第3図



第4図

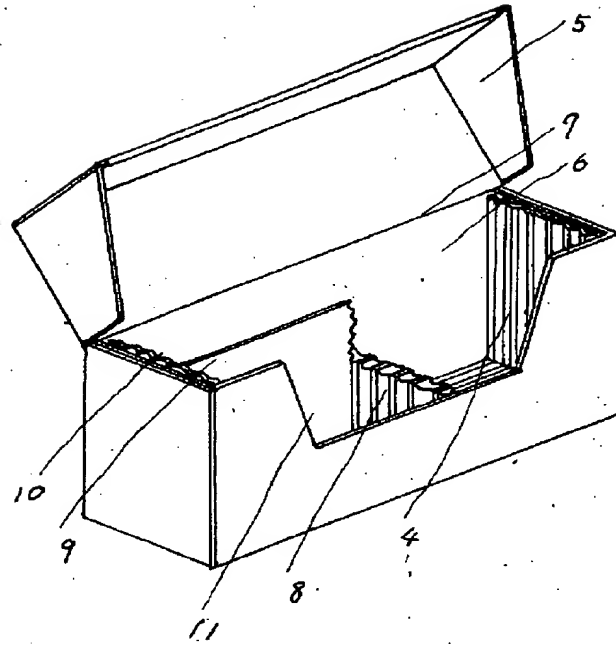


第6図



THIS PAGE BLANK (USPTO)

第 5 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)



(1500 円)

実用新案登録願 (1)

昭和47年/2月/5日

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

1. 考案の名称 ペンパイアノウヨウキ
扁平物収納容器

2. 考案者

住所 チヨウドウ 東大阪市長堂2の28
氏名 アオ キ ヨシ ハル 青 木 好 春

3. 出願人

住所 ニシヨドカク ミテ シマ 大阪市西淀川区御幣島5丁目/2番24号
名称 キンキ インサツ 近畿印刷株式会社

4. 代理人

取締役社長 シマ ダ カツ ジ 嶋 田 勝 治
住所 番530 大阪市北区網笠町16番地 大江ビル 電話(06)361-6903
氏名 弁理士(3896) 秋 山 鳳 見(ほか1名)

5. 添附書類の目録

(1) 明細書 1 通
(2) 図面 1 通
(3) 委任状 1 通

47 144925



方式 ()

明 細 書

1 考案の名称 扁平物収納容器

2 実用新案登録請求の範囲

上面開放状の箱 1 を設け、該箱 1 の底板 2 及び両側板 3、3 の全体に亘つて一連の内向波形紙 4 を内接せしめたことを特徴とする扁平物収納容器。

3 考案の詳細な説明

本考案は扁平物の下端及び両側を波形紙の谷の部分に挿入して、該扁平物を支持することを特徴とする扁平物収納容器に関するものであり、極めて簡易なる構成を有し、容器内に於ける個々の扁平物の移動を防止し、常に一定個所に支持し、緩衝効果をも合せ持つ容器を提供することを目的とする。

今こゝに本考案実施の一例を示した添附図面について詳説するに、1 は上面開放状の箱で、蓋体 5 を必要とする場合は背板 6 上端に折り目 7 を介して連設してもよく、或は別設した蓋体を使用することも可能で任意実施すべきものであ

る。次に4は箱の奥行内寸と同じ巾を有する片面波形段ボール紙で、波形面を上にして箱1の底板2及び両側板3、3の全体に亘つて一連に内接せしめるものである。

第5図及び第6図は本考案第2の実施例を示すもので、底板2に内接する波形紙4を折曲し中間に下向コの字型の仕切り8を構成し、扁平物9を二列に収納する形態に構成したものであり箱の形態収納物の数量により任意実施し得べきものである。

本考案は以上の如き構成を有し、収納される扁平物9はその下端及び両側を波形紙の谷部10に挿入支持され、運搬時或は収納物が少くなつた時に於いても箱内を移動したり倒れたりすることなく常に定位置に起立せる状態を保持することが出来るものであり、薬剤の分包、ティーバッグ、砂糖の分包等の扁平物収納容器として利用価値大なるものがある。

尚、図面に示す如く箱1の前面に切欠部11を設けておくと収納物取り出しに便利である。

4. 図面の簡単な説明

第 1 ～ 4 図は本考案の第 1 の実施例、第 5、第 6 図は第 2 の実施例を示すもので、第 1 図は斜視図、第 2 図は開蓋時斜視図、第 3 図は波形紙の平面図、第 4 図は箱の展開図、第 5 図は開蓋時斜視図、第 6 図は波形紙の折曲時正面図である。

1 … 箱、2 … 底板、3、3 … 両側板、4 … 波形紙、5 … 蓋体、6 … 背板、7 … 折り目、8 … 仕切り、9 … 扁平物、10 … 切欠部。

出 願 人 近 畿 印 刷 株 式 会 社

代理人弁理士 秋 山 鳳 見

“ 秋 山 秦 治 ”

図1

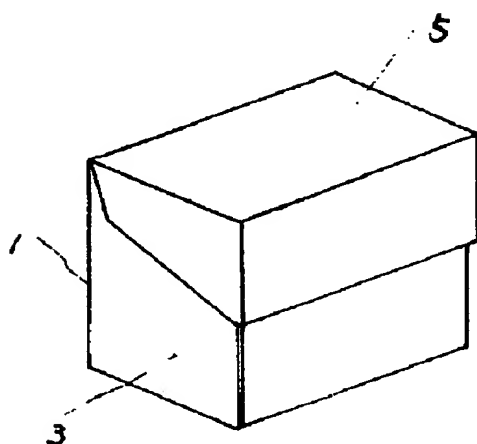


図2

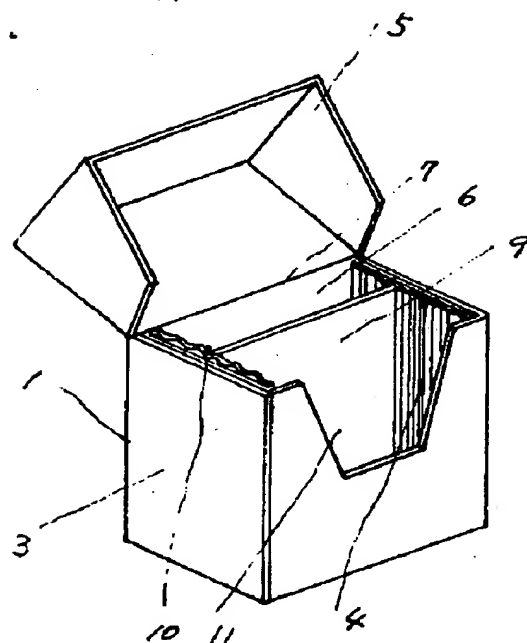


図3

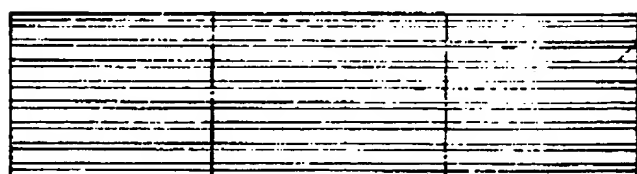
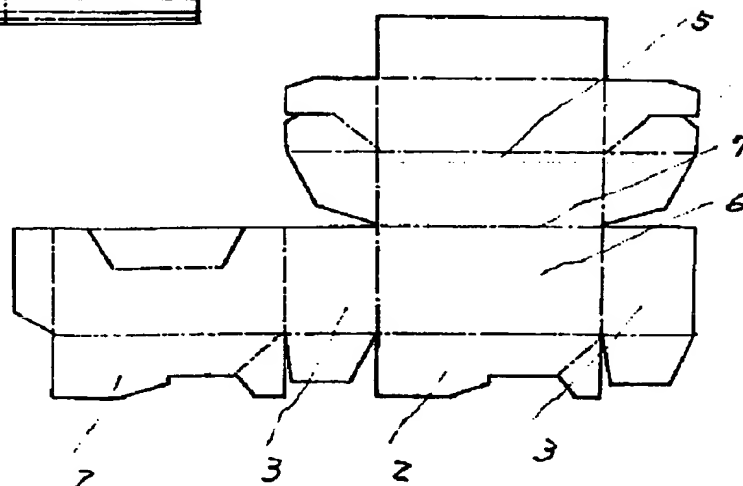


図4

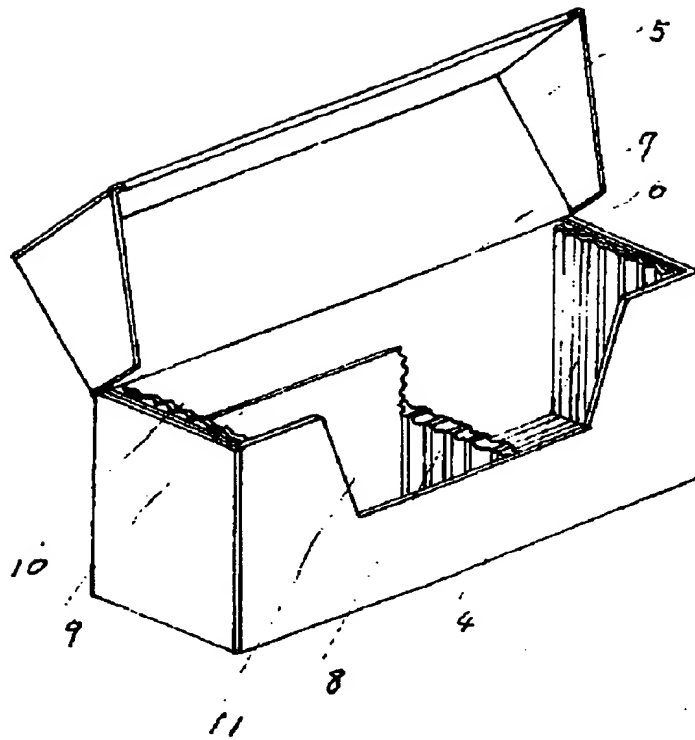


出願人 近畿印刷株式会社

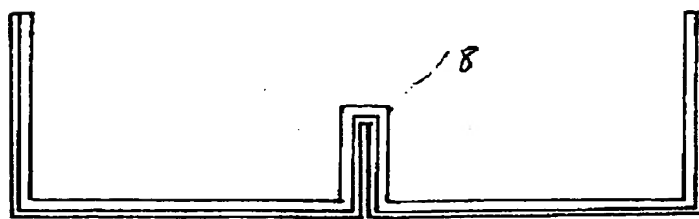
代理人 秋山 鳳 見

秋山 泰 治

第5圖



第6圖



DT 22 E-1

出願人	近畿印刷株式会社
代理人	秋山鳳見
"	秋山泰治